

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church
 復活節第2主日 Easter Sunday
 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに(ヨハネ 20・1)
 It was very early on the first day of the week (Jn 20:1)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
 1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
 Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449
<http://kasaicc.net/>



主日のミサ
 土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)
 日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



主のご復活おめでとうございます！ Happy Easter

洗礼を受ける方々

マリア・ステファニア 金澤 純子さん
 ジョゼッピーナ 金澤 杏樹ちゃん
 テレサ 谷上 紀依理さん

昨夜のミサで、高橋 香さんがカトリック教会への改宗式が行われました。

ヨハネ松尾太助祭の司祭叙階式のご案内

日時：2017年4月22日(土) 11:00am
 場所：カトリック城山教会聖堂(長崎市)
 司式：高見三明大司教

治兵衛会巡礼のお知らせ

治兵衛会のお年寄りが優先となりますが、5月8日(月)に恒例の巡礼を行います。
 今年は聖心会裾野修道院、神山復生病院とその記念館に巡礼いたします。(トマス金鏑次兵衛会)

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後 11:30より小聖堂で行います。4月は30日(日)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。(宣教部:シスター植木)

50周年ロザリオの祈りの報告(2017年分)

3月は14名 132環で、累計35名 390環です2017年も3,000環が目標です。よろしくお祈り致します。(50周年委員会)

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **13,740,872 yen**. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Tagalog Na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga). **May 3** ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

献堂50周年記念事業第6期(1月~7月)献金報告

2017年第6期報告(3月末現在)
 申込者数: 52名(目標: 200名)
 献金合計: 827,905円(目標: 3,000,000円) 1期からの合計は 13,740,872円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお祈り致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、4月27日(木)、5月18日(木)、6月15日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

キリストは復活し、いつも、
 ともにいてくださる。

その他今後の予定

04月23日(日) 復活節第2主日
04月29日(土) 共同墓地納骨式・ミサ (10時30分～)
04月30日(日) 復活節第3主日
05月07日(日) 復活節第4主日
05月13日(日) 復活節第5主日

今週の掃除は4月22日(土)
浦安地区です。皆さまご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty April 22nd Saturday
Urayasu- Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように
聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の
内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして
準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

『復活の主日』A年

今日の福音 ヨハネによる福音(20:1-9)

週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って彼らに告げた。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」そこで、ペトロとそのもう一人の弟子は、外に出て墓へ行った。二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子の方が、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあった。しかし、彼は中には入らなかった。

続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to John (20 : 1-9)

He saw and he believed

It was very early on the first day of the week and still dark, when Mary of Magdala came to the tomb. She saw that the stone had been moved away from the tomb and came running to Simon Peter and the other disciple, the one Jesus loved. "They have taken the Lord out of the tomb" she said "and we don't know where they have put him."

So Peter set out with the other disciple to go to the tomb. They ran together, but the other disciple, running faster than Peter, reached the tomb first; he bent down and saw the linen cloths lying on the ground, but did not go in. Simon Peter who was following now came up, went right into the tomb, saw the linen cloths on the ground, and also the cloth that had been over his head; this was not with the linen cloths but rolled up in a place by itself. Then the other disciple who had reached the tomb first, also went in; he saw and he believed. Till this moment they had failed to understand the teaching of scripture that he must rise from the dead.

This is the Gospel of the Lord

【 福音朗読 】

イエスは死者の中から復活されることになっている

[イエスが十字架で死んでから三日目の早朝の出来事]

週の初めの日 安息日の翌日で、今日の日曜日にあたる。

墓 墓は岩を掘った横穴で、その入口は転がる石でふさぎ、死の世界との境界を閉ざした。

愛しておられたもう一人の弟子
ゼベダイの子ヨハネ。

亜麻布 イエスの遺体を包んでいた布(19-40 参照)。

< 拝領唱 > (1 コリント 5:7-8 参照)

「わたしたちの過越キリストはほふられた。まことの種なしパンで祭りを祝おう。アレルヤ。」

COMMUNION ANTIPHON (1Cor 5 : 7-8)

Christ has become our paschal sacrifice; let us celebrate the feast with the unleavened bread of sincerity and truth, alleluia.